

科目名	外国史概論Ⅰ			担当教員	宮野 裕	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SWH101
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	本講義では、ヨーロッパやアジア世界の拡大・大航海時代・植民地形成・帝国主義の時代を経て、いっそうグローバル化の進展した社会で、他者と共生するための素養を養うべく、世界史に対する姿勢と思考力を身につけ、学界における歴史学の成果やその提供する世界の捉え方・歴史のものの見方に精通することも、求められる。					
授業の概要	世界史の概略を確認すると共に、各時代の主要テーマについて、最新の動向を交えつつ講義する。またこれまでの世界史像が形成されてきた歴史的背景についても講義する。 【デジタル技術利用】該当せず					

授業計画	
第1回	歴史の捉え方
第2回	歴史の捉え方：史料：旧約聖書を中心に
第3回	歴史の捉え方：歴史概念の変化：キリスト教教理を中心に
第4回	東西世界の形成
第5回	歴史の捉え方：イスラーム世界の形成を中心に
第6回	近世社会 大航海時代・ルネサンス・宗教改革を中心に
第7回	近代社会の成立 市民革命・産業革命を中心に
第8回	戦後史学とは？
第9回	世界の一体化と近代世界システム論 ヨーロッパ・中央アジア世界の拡大と覇権国家の登場
第10回	世界の一体化と近代世界システム論 覇権国家オランダ・イギリスと一体化される世界
第11回	世界の一体化と近代世界システム論 「周辺」としての南北アメリカ大陸の歴史 近代における強制労働力とアフリカ社会
第12回	グローバル時代における地域 国民国家をどう見るか（主権国家の成立・帝国主義と植民地の独立）
第13回	グローバル時代における地域 帝国主義・冷戦後の世界における新しい地域のまとまりへの模索
第14回	「新しい歴史学」の潮流 アナール学派ほか
第15回	まとめ・確認テスト

事前学修	2時間	前時に予告する授業内容について調べてまとめておく
事後学修	2時間	授業内容についてレジュメを作成する（方法については授業内で説明）
フィードバックの方法	レポートを授業時間外に返却。コメントを各自に口頭で伝達。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		20%	批判内容、誤字脱字等全てを評価します。
上記以外の試験・平常点評価		80%	まとめの筆記テスト（60）＋中間ミニテスト（20）を行う。
定期試験		0%	
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
使用しない	—	—	—	授業時に配付します
参考資料	高等学校世界史探究・歴史総合、或いは世界史B教科書 必ず持参せよとは言いませんが、あった方が良い。 高等学校各種史料集（図表に富んだものが良い）：売店には世界史資料集を置いておきます。			

科目名	外国史概論Ⅱ			担当教員	柴田 昇	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SWH402
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	中国史を学ぶ上で必要な基本概念・用語を理解し、中国前近代史全体の大きな流れと各時代の特色が説明できるようになる。					
授業の概要	新石器時代から近代初期までの中国史上の諸問題を、日本との比較を含めて時代ごとに講義する。 デジタル技術利用 該当なし					

授業計画	
第1回	授業の概要と受講上の注意点、中国史の全体像と時代区分についての解説。
第2回	1 中国文明とは何か キーワード：黄河文明・長江文明・初期国家
第3回	2 最初期の王朝 キーワード：夏王朝・殷王朝・周王朝
第4回	3 春秋戦国の社会変動 キーワード：封建制・覇者体制・諸子百家
第5回	4 秦帝国の成立 キーワード：皇帝・郡県制・焚書坑儒
第6回	5 楚漢戦争と漢帝国 キーワード：陳勝呉広の乱・楚漢戦争・郡国制
第7回	6 漢帝国と儒学 キーワード：黄老思想・武帝・儒教国教化
第8回	7 後漢礼教国家と三国時代 キーワード：外戚政治・三国志・黄巾の乱
第9回	8 南北朝の動乱 キーワード：五胡十六国・貴族制・均田制
第10回	9 隋唐帝国 キーワード：煬帝・則天武后・安史の乱
第11回	10 宋代の国家と社会 キーワード：唐宋変革・君主独裁政治・水滸伝
第12回	11 モンゴルと元王朝 キーワード：征服王朝・モンゴル帝国・紅巾の乱
第13回	12 中国王朝の到達点 キーワード：明王朝・清王朝・科挙
第14回	13 近代中国の形成 キーワード：アヘン戦争・太平天国の乱・義和団事件
第15回	授業全体の総括と学修到達度の確認試験

事前学修	2時間	講義内で次回までに理解しておくべき事項について指示する。
事後学修	2時間	授業ノートの整理とポイントの復習。キーワードおよびそれに関連する事項の意味の確認。
フィードバックの方法	フィードバックとして確認試験後に模範解答の提示と解説を行う。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	リアクションペーパー、確認試験
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
プリントを配布する	なし	なし	なし	なし
参考資料	高等学校世界史教科書 なお中国史全体を理解する上で役立つ比較的安価で簡便な書物として以下を挙げておく。 堀敏一『中国全史』（講談社学術文庫、ISBN9784061594326） 岸本美緒『中国の歴史』（ちくま学芸文庫、ISBN9784480096913）			